

[別紙]

業務委託仕様書

第1条 総則

この仕様書は、『若者・女性等を対象とした ICT スタートアップ人材育成の事業モデル構築』プロジェクト実施支援（研修コース運営等）業務に係る業務の仕様を示すものである。

第2条 業務の背景

本事業の対象国であるチュニジアは 2011 年の「アラブの春」を経て、経済再建に取り組んでいるが、依然として経済の停滞や治安の悪化などの課題が残る状況にある。特に「アラブの春」の遠因ともされる、高等教育を受けた若者や職業的スキルを持つ女性の失業問題はいまだ改善されていない。チュニジア政府は雇用の創出や経済成長の促進のため、ICT セクターにおけるスタートアップを政策的に推進しているが、ICT 人材の育成システムは十分に整備されていない。本事業では、高等教育を受けた若者や職業的スキルを有した女性を対象に、ICT セクターにおける最先端技術やスタートアップに関する研修を行い、起業の促進、就業機会の増大や女性活躍の増進を図る。また、本事業終了後にカウンターパート機関（チュニジア・カルタゴ大学高等情報通信学院（ISTIC））が持続的・自立発展的な事業の継続が可能となるよう、カウンターパート機関に対する組織の能力強化を図る。

第3条 業務の内容

別紙 I 図表に示す JICA 草の根技術協力「若者・女性等を対象とした ICT スタートアップ人材育成の事業モデル構築」プロジェクトの PDM (Project Design Matrix) における Activities 1-2, 1-3, 2-1, 2-3, 3-1, 3-2 に関し、本学の教職員とともに本事業の業務従事者としてチームを構成し、対象国への出張又は日本国内での業務を通じて、本学によるプロジェクト実施を支援する。

なお、本契約においては本プロジェクトの業務従事者の一員として本学によるプロジェクト実施を支援するものであるため、本プロジェクトのプロジェクトリーダー及び他の業務従事者と十分な連携を取り、業務を実施する。

また、本契約における業務は JICA 事業の枠組みにおいて実施されるものであり、JICA に対する業務上の報告・連絡についても十分考慮することが求められる。

第4条 成果品等及び提出期限

1. 成果品等

(1) 業務実施報告書

(2) 下記費用に係る証憑書類

【外国旅行の旅費に関するもの】

- ・ 航空賃の領収書及び搭乗券の半券
- ・ 外国旅行の旅程・宿泊地等を記した報告書

【外国旅行の旅費に関するもの】

- ・ 必要な場合において、車両を備上した場合の経費に関する領収書

【その他】

- ・ その他大学が指示するもの

2. 提出期限

(1) については2024年3月31日までに、(2) については旅行終了後、速やかに提出すること。

第5条 想定する業務及び業務量

Activity 1-2、2-1 (ISTIC との協働によるシラバス案の策定) 関係：1.25 人月
2022 年度に実施したベースライン調査の結果や ISTIC、JICA 等との協議を踏まえ、受講者の知識レベル、受講者層等に応じた研修コースを複数立ち上げ、ISTIC との協働によりシラバスを作成する。

Activity 1-3、2-1 (シラバス案及びコース運営方法等の改善) 関係：0.5 人月
研修コースの実施後に ISTIC との協働で成果や実施状況をリバイスし、次の研修コースの実施までにシラバスや運営方法を改善する。

Activity 2-3 (ISTIC の能力改善) 関係：0.5 人月
ISTIC が自らコース運営を企画運営する能力を高め、自律発展的に改善を繰り返すことができるよう指導する。

Activity 3-1 (ISTIC 学生等に対する研修実施) 関係：1.5 人月
ISTIC 学生等に対し、ISTIC と協働して研修コースを実施する。実施は 2023 年 6 月及び 9 月を予定する。国内からのリモートによるコースの準備及び事後的なフォロー

アップを含む。

Activity 3-2（女性を含む外部受講生等に対する研修実施）関係：1.5 人月

女性を含む外部受講生等に対し、ISTIC と協働して研修コースを実施する。実施は 2024 年 2 月を予定する。国内からのリモートによるコースの準備及び事後的なフォローアップを含む。

計：5.25 人月

これらの業務を実施するために、3 回の現地出張（1 回あたり 7 泊 9 日、1 回目 3 名・2 回目 3 名・3 回目 2 名）を予定するほか、国内からのリモートによる ISTIC との協議及び受講生のフォローアップ（課題の進捗確認や相談受付など）、及び、事務手続きや内部協議、安全管理等これらに付帯する業務を行う。上記人月にはこれらの国内からの業務を含む。

第 6 条 監督者

本契約において、契約書第 5 条に定める本学の監督者は以下の者とする。

1. 氏名：麻野 篤
2. 担当業務：プロジェクトマネジャー

第 7 条 業務責任者

本契約において、契約書第 6 条に定める受注者の業務責任者は以下の者とする。

1. 社名・役職・氏名：
2. 担当業務：

第 8 条 事務規範

安全管理及び会計処理その他の事務に関しては、本学の定めるところによるほか、JICA の「草の根技術協力事業に係る経理ガイドライン（2021 年 8 月）¹」（以下「ガイドライン」という。）その他の規程等及びその運用ルールに従うものとする。

¹ https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/kusanone/ku57pq00002nuc79-att/kusanone_keiri_guideline_202108.pdf

第9条 経費の積算及び精算の方法について

1. コンサルタント業務報酬は第5条を参考に積算すること。これらは業務実施報告書の提出をもって業務の遂行を確認した上で、その対価として支払いがなされるものとする。
2. 外国旅費（航空賃、宿泊料、日当、その他（旅行雑費））については積算には含めず、旅行の都度支給するものとし、第4条1.(2)に定める証憑書類等の提出を受けた日の属する月の翌月末日までに、原則として旅行した本人に対して支給する。
3. 航空賃の計算については、エコノミークラスの利用を原則とし、実際に支払った航空賃の領収書の金額から、空港施設使用料・旅客保安料・発券手数料の消費税を控除した額を支払うものとする。
4. 日当・宿泊料の計算に当たっては、ガイドライン上の単価である「日当 3,200円、宿泊料 9,700円」を適用し、実際の旅行日数によるものとする。なお、宿泊料はガイドラインの基準を適用し、実際の旅行日数から2を控除した泊数として計算する。
5. 旅行雑費については車両備上費が対象となる。なお、外貨払いした場合の円換算レートはJICA規定の外貨換算レートを用いることとする。
6. 海外旅行保険料については、旅行雑費には含まない（受注者負担）。

第9条 安全対策

1. 受注者は、安全対策に関し、本学のほかJICAからの指示に服するものとし、JICAの安全対策に関する指針に基づき受注者の責任において十分な措置をとるものとする。
2. 受注者は、以下の安全対策を講じるものとする。
 - (1) 外務省が邦人向けに提供している海外旅行登録システム「たびレジ」に、業務従事者の渡航情報を登録する。
 - (2) 現地への渡航に先立ち、JICAのウェブサイト（国際協力キャリア総合情報サイト PARTNER）上で提供する安全対策研修（Web版）を業務従事者に受講させる。
 - (3) 現地への渡航に先立ち本学が提供するJICA安全対策措置（渡航措置及び行動規範）の遵守を徹底する。また、JICA又は本学より、同措置の改訂の連絡

があった場合は、改訂後の同措置の遵守を徹底する。

第10条 安全配慮義務を考慮した航空券及び海外旅行保険の手配

航空券の手配及び海外旅行保険の手配に当たっては、治安の悪化による経路の変更やフライトの振替、急病や事故における移送、ドクターの手配等、緊急時の対応を本学が一括して行わなければならないことを考慮し、本学が受注者に代わって代理店を通じてこれを行うものとする。

第11条 相互の便宜供与

1. 受注者は、業務に関係して本学が実施する視察、調査、情報収集、評価、広報活動、統計整理等の業務に関し、実務的に可能な範囲内で、本学又は本学が指定する関係者に対し、便宜を供与することとする。
2. 本学は、受注者が契約上実施する業務に関連し、本学が実施することが明らかに効率的である便宜等に関し、実務的に可能な範囲内で、受注者の依頼を受け、受注者に対し、かかる便宜を供与することとする。

第12条 物品・機材の貸与にかかる手続き

1. 業務の実施に必要な物品・機材は受注者がこれを用意することとするが、本学の判断により、一部物品・機材については、これを受注者に業務実施期間中無償で貸与する。
2. 受注者は、前項に規定する機材を善良な管理者の注意をもって保管、使用するものとする。
3. 受注者は、業務実施期間中に自己の故意又は過失により、物品・機材を滅失又はき損したときは、本学の指定した期間内に本学の指示するところに従い、これと同等品を代替品として返還し、若しくは原状に復し、又は損害を賠償しなければならない。

第13条 緊急時の移送費等

受注者の要員が現地業務従事期間に疾病又は負傷等の理由により、現地において緊急の治療又は移送等の対応が必要になった場合、本学は、本学が手配する保険の範囲において、治療、移送等の手配に関し便宜を図ることとする。ただし、同保険で担保されない治療費等については受注者がこれを負担することとする。

別紙 I 図表 PDM

PDM (Project Design Matrix)

1. Project Title / Duration	The Project for the Establishment of a human resource development model for ICT-Startups for women and young people (Le projet de mise en place d'un modèle de développement des ressources humaines des start-ups TIC pour les femmes et les jeunes) in Tunisia (3 years)		
2. Name of project implementation organization	Fukushima Prefecture (proposal organization), University of Aizu (designated organization, UoA)		
3. Counterpart	The higher institute of Information and Communication Technology (L'Institut Supérieur des Technologies de l'Information et de la Communication : ISTIC), University of Carthage, Tunisia		
4. Target group	Direct beneficiaries: ISTIC faculty members involved in human resource development for ICT startups (about 10 people), Indirect beneficiaries: women and young start-uppers ² in the nearby regions that participate in the training (about 100 people during the project implementation period)		
Project summary	Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal</p> <ul style="list-style-type: none"> A business model for Human Resource Development (HRD) program fostering competencies required by ICT start-uppers / entrepreneurs (women and young people, the same applies hereinafter) is applied in various universities in Tunisia. 			

² No intention of rigid restriction in terms of age or gender, however, the main targets of the training courses are young people and women under the age of around 40 who have completed their studies in higher education but have not had the opportunity to get regular employment or start a business. Especially for women's empowerment, training courses designated for women and increasing the proportion of women among the participants are to be considered .

<p>Project Purpose</p> <ul style="list-style-type: none"> At the ISTIC, multiple HRD training courses on competencies required by ICT start-uppers are organized in the form of program, and the methods of program implementation including planning and management is established as a business model. 	<ul style="list-style-type: none"> Number of syllabuses of the co-created training courses Formulation of an HRD program consisting of the multiple training courses Confirmation of HRD business model by Tunisian government authorities 	<ul style="list-style-type: none"> Self-evaluation by ISTIC and UoA 	<p>Drastic changes in the economic and social environment due to deterioration of public security, etc.</p>
<p>Output</p> <ol style="list-style-type: none"> ISTIC and UoA co-create multiple training courses on startup support for young people and women based on the social needs, and organize them as an "ICT start-up HRD program". UoA develops ISTIC's capacity in order that ISTIC can implement solely HRD program. ISTIC and UoA jointly implement co-created multiple training courses and make participants of the training courses acquire knowledge about business methods, product development know-how or cutting-edge ICT etc. The business process from planning to implementation and evaluation of the program is summarized as "ICT startup HRD business model". 	<ol style="list-style-type: none"> ISTIC members involved in the planning and operation of training courses (cumulative total number) <ol style="list-style-type: none"> ① Number of ISTIC members involved in the formulation of HRD program (cumulative total number) ② Percentage of ISTIC members who said that ISTIC is capable of conducting HRD by their own initiative, in the questionnaire to ISTIC members at the end of the project ① Number of participants <ol style="list-style-type: none"> ② Percentage of participants who found the training course useful Creation of documents explaining the HRD business model 	<ul style="list-style-type: none"> Report from ISTIC Conducting questionnaires to teachers and students 	<p>Drastic changes in the economic and social environment due to deterioration of public security, etc.</p>

<u>Activities</u>	<u>Inputs</u>	<u>Pre-conditions</u>
<p>1-1 To Conduct a baseline survey through questionnaires or interviews with ISTIC faculty members, students, ICT company managers etc., in order to identify the following items;</p> <ol style="list-style-type: none"> local social needs, interests of expected beneficiaries (especially women, the same applies hereinafter), social and economic environment surrounding expected beneficiaries, social factors that hinder employment and barriers between "research" and "business", academic background of expected beneficiaries (especially IT-related) and other socio-economic attributes. <p>At the same time, to seek the possibility of cooperation with other organizations that support entrepreneurship (especially promotion of women's economic activities).</p> <p>1 -2 Based on the survey results, to co-create multiple training courses according to the level, target, and course content, and formulate syllabuses (trial version)</p> <p>1 -3 To repeat the revision of the syllabus while monitoring the implementation status and results of Activities 3 -1, 2</p> <p>1-4 To organize the co-created multiple training courses as the "ICT Startup HRD Program".</p> <p>2-1 To perform each process of Activity 1 through collaboration between ISSTIC and UoA</p> <p>2-2 To invite ISTIC members to UoA as "teachers training" in Japan, in order that ISTIC members deepen the understanding the education system at UoA, including site visits for training local human resources and workshops with UoA members.</p> <p>2 -3 Through Activities 3-1, 2, the initiative of planning and managing the training courses is gradually shifted</p>	<ul style="list-style-type: none"> UoA faculty and staff (approx. 10 people in total) External organizations (instructors of corporate practitioners, engineers, faculty members of other universities, etc.) (Approx. 10 people in total) Equipment (PCs for example) and software required for training Travel expenses and other administrative expenses <p>The main input is UoA faculty members, but especially for the practices and examples of startups, Japanese entrepreneurs or specialized consultants are mobilized as lecturers. As for the equipment, principally the existing equipment in ISTIC and UoA will be used, but in case of need, the project budget will be used as a financial resource.</p> <p>ISTIC positions this project as a "university-wide initiative" and also as the first step in promoting cooperation with Japan (JICA, UoA). Every ISTIC member (female in particular) is to be cooperative for this project and ISTIC provides existing facilities and equipment to this project.</p> <p>During this project, ISTIC and UoA will strengthen the cooperative relationship external stakeholders (World Bank, AfDB, Japan Tunisia Chamber of Commerce, Agence de Promotion de l'Industrie (API)), in order to expand the effect of this project and to ensure the autonomy and sustainability after the project is completed.</p> <p>The project may be implemented remotely (based on WEB) in consideration of the new coronavirus infection and the situation of local security.</p>	<ul style="list-style-type: none"> The business condition of ISTIC will not deteriorate significantly due to the decrease in the number of students and the budget.

<p>to the ISTIC side.</p> <p>3-1 To conduct the training courses for ISTIC students in collaboration with ISTIC members and UoA members including external consultant.</p> <p>3 -2 To widen the target of the training courses to the local human resources (especially women) in cooperation with the Tunisian government and local governments</p> <p>3-3 To hold seminars on funding, tax system, legal procedures, etc. in collaboration with other donors and the Tunisian government</p> <p>4-1 To formulate a paper/document on the “ICT Startup HRD Program” co-created through Activities 1 to 3 as an “outcome document” and publish it as the "ICT startup HRD business model" with the consent of the Tunisian government authority.</p> <p>4-2 to hold seminars on this model in collaboration with other donors, Tunisian government, JICA, etc. for the private sector and other educational / research institutions.</p>		
--	--	--

【Conceptual diagram】

- **Formulation of human resources development (HDR) program and implementation of training**
 - Training for technical brush-up (catching up the latest trend)
 - Training focused on promoting women's socio-economic activity
 - PBL type (project/problem-based learning) training
 - Training on Open Innovation, Design thinking and Startup mindset... etc.
- **Planning and operation of each training course**
- **Establishment of PDCA cycle for autonomous/self-sustaining improvement**
- **Building a collaborative relationship with industry sector and other donors (industry-government-academia collaboration system)**



[Project goal] Established as “ICT start-up HDR business model”

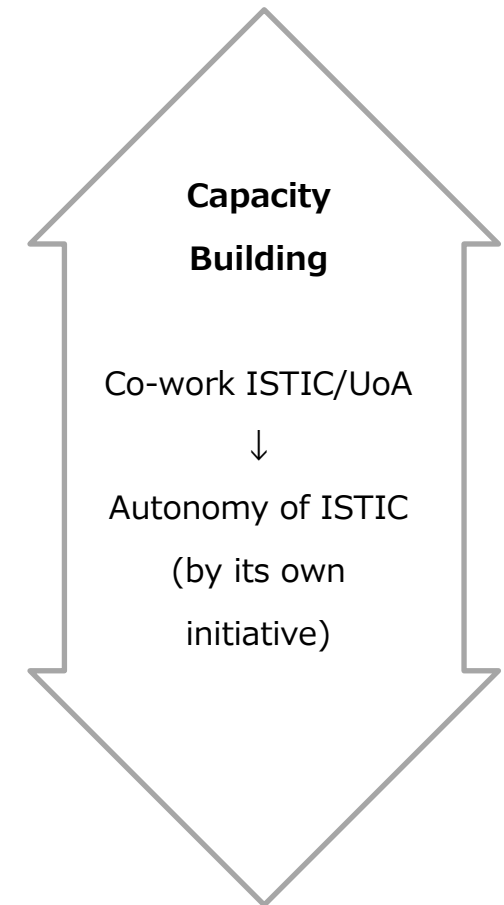
Guarantee of self-sustaining development after the project is completed

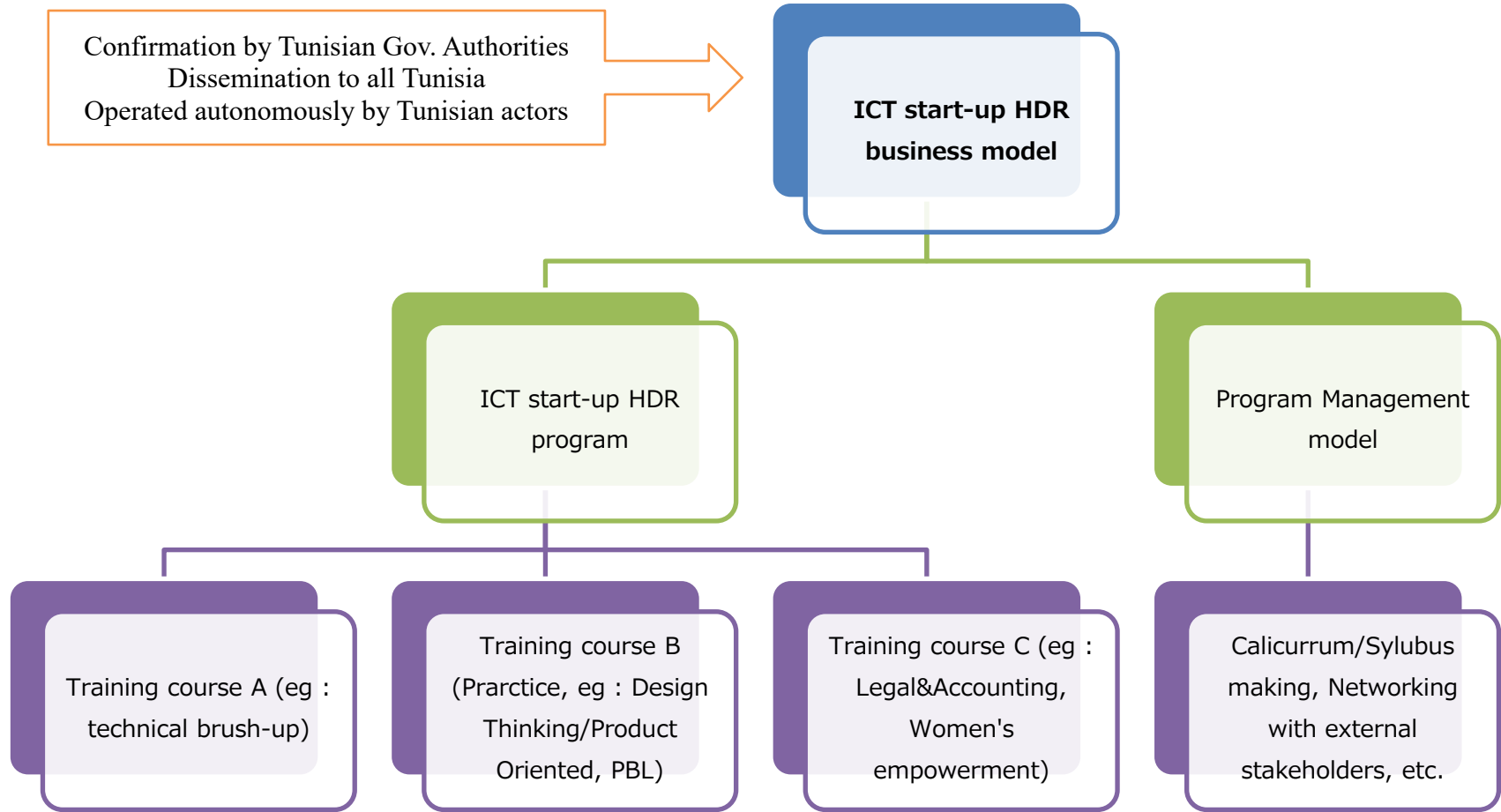
Aiming to expand this model in Tunisia



[Impact /Overall Goal] Dissemination of ICT Startup HDR business model

→ Employment promotion / improvement of livelihood / empowerment of Tunisia's economy and society / achievement of SDGs / construction of human network in Tunisia-Japan (Fukushima Prefecture)





The details about training courses are to be discussed.

